

校長室だより 2024.6.20

校内研修「自ら課題を見つけ、解決するために自走できる子」

子どもたちにも先生にも常に伝えていること

自律・挑戦・つながり この3つの力をつけるために取り組んでいます。

自律とは、自分で考えて行動することです。その**自分で考える力**を養うにはその土台となる知識や考え方を身につけなければなりません。土台となる方法を教職員で研修しています。

校内研修では、指導主事を講師招聘し、多くのことを学びました。

経済産業省から出されている「人生100年時代において必要な能力とされているのが「社会人基礎力」と言われる次の3つの力だそうです。

- ・前に踏み出す力(アクション)
- ・考え抜く力(シンキング)
- ・チームで働く力(チームワーク)

前に踏み出す力とは、物事に進んで取り組む力であり、自分で考え行動する力です。また失敗してもねばり強く取り組む力のことです。

考え抜く力とは、課題を見つけ、課題解決に向けて計画を立てて準備し新しい価値を生み出す力です。

チームで働く力とは、多様な人々とともに目標に向けて協力する力です。人とのつながりや協働を生み出す力が求められています。

こういった社会で生き抜く子どもたちに必要な力を培うために、また多様化した子どもたちに合った学びとは何かを考え、研修を積み重ねています。

これまでの一斉指導の指導を生かして、子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業改善の工夫を図っています。

その一つの方法として自由進度学習という学び方に挑戦してみました。単元の学習課題を解決するために、自分の課題を明確にしながら、自分で学び方を選んだり計画を立てたりして自己調整しながら学んでいきます。友達と一緒に解決したり教科書をみたり動画をみたりして自分が納得いくまで学べます。





自分のわからないところを発見する力がつき、繰り返し同じことを学べることやわからないときに聞けるタイミングがたくさんあることもメリットです。

いろいろな授業改善をしながら、子どもたちがこれからの予測困難な社会を生き抜ける力をつけるには、どんな学び方がいいのか検証していきたいと思っています。

正解のない時代だからこそ他者と協働しながら正解のない課題に対応していく力をつけることが大事であり、私たち教職員も常にチームとして、子どもたちの成長にという目標に向けて納得解を導いていきたいと思っています。

子どもたちも教職員も新しいことへのチャレンジを楽しみながらお互いに高まりあっていきたいです。